

科目ナンバー： BB1082

授業コード： 2220100800

講義科目名称： 公衆衛生学

英文科目名称： Public Health Science

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員			
関奈緒、◎高林知佳子、野口裕子、前川絵里子、久保野裕子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	関 奈緒	新潟大学		
	◎高林 知佳子	新潟県立看護大学	304	takabaya@niigata-cn.ac.jp
	野口 裕子	新潟県立看護大学	209	yuko@niigata-cn.ac.jp
	前川 絵里子	新潟県立看護大学	307	maekawa@niigata-cn.ac.jp
	久保野 裕子	新潟県立看護大学	共同研究室2	kubono@niigata-cn.ac.jp
	実務経験のある教員が担当します。			
	【大学の科目区分】 専門基礎科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程・保健師課程			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎ ○			

到達目標	1. 公衆衛生の概念、健康問題、疾病予防と健康管理について理解できる。 2. 環境の健康への影響、ライフステージごとの健康問題とそれに対する保健医療政策について理解できる。
授業概要	わが国の保健統計指標の動向、疾病予防、健康の保持増進、健康管理、産業保健、環境保健などに関する基礎知識を学び、保健活動の基盤となる法や施策について基本的な理解を深める。
授業計画	1 授業内容 授業形態：対面 学修課題：公衆衛生学とは、公衆衛生と地域保健 学修内容：公衆衛生学の定義、公衆衛生と地域保健 事前学修：テキストP1～17、P227～242を熟読し、公衆衛生学の定義、公衆衛生と地域保健について調べる。 事後学修：テキストP1～17、P227～242を読み返すとともに、授業資料に示した「本時の事後学修」の内容について整理する。 備考：高林 2 授業内容 授業形態：対面 学修課題：母子保健1 学修内容：母子保健の健康指標と課題・対策、 事前学修：乳児死亡率が意味することについてテキストを参照しながら自分の考えをまとめる。 事後学修：母子保健の健康指標と母子保健対策について自分の考えを深める。 備考：野口 3 授業内容 授業形態：対面 学修課題：母子保健2・歯科保健 学修内容：母子保健対策、歯科保健対策 事前学修：新潟県の歯科保健対策についてテキストを参照しながら自分の考えをまとめる。 事後学修：母子保健対策と歯科保健対策について自分の考えを深める。 備考：野口 4 授業内容 授業形態：対面 学修課題：高齢者保健 学修内容：高齢者の保健福祉施策の動向 事前学修：テキストから「高齢者の保健・医療・介護」の範囲を一読する。 事後学修：指定されるミニワークについて他学生の考えを参考に高齢者の健康課題への支援について考えを深める。 備考：前川 5 授業内容

	授業形態：対面 学修課題：成人保健 学修内容：成人保健の動向、成人保健施策、がん対策 事前学修：必携テキストを読み、生活習慣病・がんについて理解しておく。 事後学修：課題を通して自身の健康課題や成人期にある人々への健康支援について考えを深める。復習問題を通して知識の定着を図る。 備考：久保野
6	授業内容 授業形態：対面 学修課題：精神保健 学修内容：精神障害者保健の動向、精神障害者に対する施策、わが国の自殺の現状、自殺対策の動向 事前学修：テキストP327～346を熟読し、精神障害者保健の動向、精神障害者に対する施策、わが国の自殺の現状、自殺対策の動向について調べる。 事後学修：テキストP327～346を読み返すとともに、授業資料に示した「本時の事後学修」の内容について整理する。 備考：高林
7	授業内容 授業形態：対面 学修課題：障害者保健、難病保健 学修内容：障害児者保健の動向と施策、難病患者数の動向、難病患者を支える法体系 事前学修：テキストから「衛生学・公衆衛生学序論」のうち概ねp1からp8までを一読（概観）する。 事後学修：指定されるミニワークについて他学生の考えを参考に健康課題への支援について考えを深める。 備考：前川
8	授業内容 授業形態：対面 学修課題：学校保健 学修内容：学校保健の現状、学校保健を支える法体系 事前学修：学校保健安全法についてテキストを参考に調べる 事後学修：講義を聞いて、学校保健の現状に対する自分の考えを深める 備考：野口
9	授業内容 授業形態：対面 学修課題：産業保健 学修内容：労働災害の現状と予防のための対策、産業保健を支える法体系 事前学修：必携テキストを読み、 事後学修：課題を通して仕事による健康への影響や予防対策について考えを深める。復習問題を通して知識の定着を図る。 備考：久保野
10	授業内容 授業形態：遠隔 学修課題：健康と公衆衛生の概念 学修内容：健康と公衆衛生 事前学修：必携図書を参考に、健康と公衆衛生について調べる。 事後学修：講義を聞いて、健康に対する自分の考えを深める。 備考：関
11	授業内容 授業形態：遠隔 学修課題：環境保健 学修内容：環境問題、環境要因 事前学修：必携図書を参考に、環境問題、環境要因について調べる。 事後学修：講義を聞いて、環境保健の現状に対する自分の考えを深める。 備考：関
12	授業内容 授業形態：遠隔 学修課題：感染症とその予防 1 学修内容：感染症の成立要因、流行現象、予防の基本、感染症法 事前学修：必携図書を参考に、感染症の成立要因、予防の基本、感染症法について調べる。 事後学修：講義を聞いて、予防の基本に対する自分の考えを深める。 備考：関
13	授業内容 授業形態：遠隔 学修課題：感染症とその予防 2 学修内容：主たる感染症、感染症対策 事前学修：必携図書を参考に、主たる感染症、感染症対策について調べる。 事後学修：講義を聞いて、感染症対策に対する自分の考えを深める。 備考：関
14	授業内容 授業形態：遠隔 学修課題：主な疾病の予防 1 学修内容：予防医学と健康増進、生活習慣病 事前学修：必携図書を参考に、生活習慣病予防について調べる。 事後学修：講義を聞いて、生活習慣病の予防に対する自分の考えを深める。 備考：関
15	授業内容 授業形態：遠隔 学修課題：主な疾病の予防 2 学修内容：がんの疫学、たばこ対策

	事前学修：必携図書を参考に、がんの疫学、たばこ対策について調べる。 事後学修：講義を聞いて、たばこ対策に対する自分の考えを深める。 備考：関
評価方法、評価基準	・筆記試験100%（関 40%：40点満点、高林・野口・前川・久保野 60%：60点満点）として、到達目標1と2の達成度を評価する。 ・ただし、講義によっては知識の理解を確認するため課題を課す場合があり、提出状況が悪い場合は最大6点をめどに減点する。
必携図書	シンプル衛生公衆衛生学 2026 南江堂
参考図書・資料等	国民衛生の動向 2023/2024 厚生労働統計協会 公衆衛生がみえる 2023-2024 メディックメディア 最新 公衆衛生看護学 第3版 2024年版 各論1 日本看護協会出版会 最新 公衆衛生看護学 第3版 2024年版 各論2 日本看護協会出版会
受講、課題、資料配布等のルール	・試験を受けるには、2/3以上の出席が必要。 ・20分以上の遅刻は欠席とみなす。 ・資料配布等のルールについては、必要時、指示します。
教員からのメッセージ	あなたや家族の健康がどのような予防活動で守られているか知り、地域保健活動や保健医療行政に関心を向けてください。
オフィスアワー	高林・野口・前川・久保野：時間指定なし（事前予約必要）